

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年10月6日～2016年10月12日)

平成 28 年(2016 年)10 月 14 日

H E A D L I N E S

## 政治

政党支持に関する世論調査結果  
 教育制度改革を巡る教師の抗議デモ  
 米軍とポーランド軍の空挺共同訓練開始  
 V4グループの共同訓練開始  
 ポーランド・スロバキア大統領会談  
 上下両院議長のEU加盟国議会議長会合出席  
 ロシアによるイスカデル・ミサイルのカリーニングラードへの輸送  
 仏大統領のポーランド訪問取りやめ  
 ポーランドによる仏カラカル・ヘリの調達契約破棄  
 ヴァシチコフスキ外相のバルニエEU首席交渉官との会談  
 ヴロネツカ外務次官のフィリピン訪問  
 ポーランド・ベラルーシ外相会談  
 ポーランド軍とドイツ軍の共同訓練開始  
 ポーランド・仏外相電話会談

## 経済

個人所得税税・社会保障の会計一元化の動き  
 シャワマハ前財務大臣が中銀理事に任命  
 国有企業の所管省庁  
 ユンカー・プラン(欧州戦略投資基金(ESIF))支援プロジェクト  
 公共賃貸住宅支援策  
 ワルシャワはポーランドで最も裕福な都市  
 電気バス導入が拡大  
 46%が日曜商業活動禁止法に反対  
 電力容量市場について来年初頭に発表

## 社会情勢

アンジェイ・ワイダ監督の逝去

## 大使館からのお知らせ

ポズナンにおける領事出張サービスについて  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

**政党支持に関する世論調査結果【9日】**

9日、民放ラジオ・ゼットが発表した世論調査結果によると(7・8日に調査機関 IBRiS 社実施)、与党「法と正義」(PiS)が29.8%を獲得し、第一位の地位を維持した。他方、PiSは8月の約34%から支持率を落としており、メディアは最近の中絶を巡る混乱等が右支持率低下につながったとの見方を示している。この他の野党については、近代(.N)が24.3%、市民プラットフォーム(PO)が16.1%、クキス' 15が6.7%、農民党(PSL)が5.1%の支持を得ている。

**教育制度改革を巡る教師の抗議デモ【10日】**

10日、「法と正義」(PiS)政権が現在の「小学校6年、中学校3年、高校3年」の制度を「小学校8年、高校4年」に変更する改革を計画していることに関し、教師連盟が右改革案では現代の教育に求められているものに対応できない等の見解を纏めた陳情書を国家教育省に提出し、約2千名の教師が抗議デモを行った。同改革案を巡っては、主要野党も反対姿勢を示している。

## 外交・安全保障

**米軍とポーランド軍の空挺共同訓練開始【6日】**

6日、米軍とポーランド軍の空挺共同訓練が開始され、米軍から200名、ポーランド軍から50名が参加し、ポーランド空軍のC-130が5機支援した。訓練期間は4週間の予定で、昼間降下、暗視装置装着時の降下、射撃等を行う。

リーニングラード州へ輸送した。

8日、マチェレヴィチ国防大臣は、ロシアの最近の活動には最大の関心を払っており、あらゆる情報を収集している。今後も監視を継続し、ポーランドと同盟国の安全を確保するため、同盟国軍との協力も含め、必要な処置をとっていくと述べた。

**V4グループの共同訓練開始【6～13日】**

6日、スロバキア、ハンガリー、ポーランド、チェコ、米国が参加し、スロバキア国内で開始され、期間は、13日までの予定である。訓練目的は、相互運用性と射撃能力の向上である。米軍は、大西洋リゾルブという大きな演習の一環で参加している。

**仏大統領のポーランド訪問取りやめ【7日】**

7日、仏大統領府は、政府間協議の一環として13日に予定されていたオランド仏大統領のポーランド訪問を見合わせる旨を発表した。本決定は、ポーランドがフランス製のヘリコプターを購入する契約が中止となったことと関連しており、ル・ドリアン仏国防相のポーランド訪問も中止となった。

**ポーランド・スロバキア大統領会談【7日】**

7日、ドゥダ大統領は、ポーランド訪問中のキスカ・スロバキア大統領とベルヴェデーレ宮殿にて会談を行い、14～15日にポーランド南部のワイント及びジェシュフにて開催予定のV4大統領会合について意見交換した。同会合で予定されている主議題は、欧州のアイデンティティ、エネルギー安全保障及びEUにおけるV4の役割となる。

7日、ヴァシチコフスキ外相は、フランスとの政府間協議が見送りになったことについて、ポーランドと仏の政府間協議は見合わせるようになったが、中止ではない、今回の交渉が契約を結ばずに終結となったことはフランスとの協力全体に影響しないと確信している旨の声明を発表した。

**上下両院議長長のEU加盟国議会議長会合出席【7日】**

7日、クフチンスキ下院議長及びカルチェフスキ上院議長は、ブラティスラバにて行われた、EU及び全体として見た欧州の主要課題を主な議題とする EU 加盟国国議長の非公式会合に出席し、EU加盟国の議会の役割を強化する提案を発表した。

**ポーランドによる仏カラカル・ヘリの調達契約破棄【8～11日】**

8日、マチェレヴィチ国防大臣は、問題点を出来るだけ早期に解決し、ポーランド軍が必要な多用途ヘリを装備できるように、かつポーランドの軍事産業が新技術を得られるように契約を進めると述べた。

**ロシアによるイスカンデル・ミサイルのカリーニングラードへの輸送【7日】**

7日、ロシア軍は、訓練の一環として、核搭載可能で射程 500～700km のイスカンデルMミサイルをカ

10日、シドウォ首相とマチェレヴィチ国防大臣は、ミエツ社及びシフェドニク社を訪問し、同大臣は、ポーランド軍特殊部隊用に数機のブラックホークを購入する旨と述べ、11日、シドウォ首相とマチェレヴィチ国防大臣は、ウッチ航空機工場を訪問し、16年中に2機のブラックホークを購入し、17年に8機、18年に11機以上をポーランド軍に導入する予定であると述べた。

ヴァシチコフスキ外相のバルニエEU首席交渉官との会談【10日】

10日、ヴァシチコフスキ外相は、EU条約50条に基づいて英国との離脱交渉を担当する欧州委員会のバルニエ首席交渉官と会談し、英国との交渉にあたって、ポーランド政府として建設的に協力する姿勢を表明するとともに、英国での離脱派の勝利の原因及びポーランド政府のEU改革に関する立場についても言及した。

ヴロネツカ外務次官のフィリピン訪問【10日】

10日、ヴロネツカ外務副大臣は、フィリピンを訪問し、ヤサイ・フィリピン外相と会談し、マナロ・フィリピン外務次官と二国間政治的協議を行った他、ポーランド・フィリピン経済セミナーに出席した。同訪問団は、ポーランド外務省、開発省職員及び民間企業から構成され、年間7%のGDP成長率を持つフィリピンとの協力関係の発展を目的としていた。

ポーランド・ベラルーシ外相会談【10日】

10日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のマケイ・ベラルーシ外相と二国間の善隣相互承認・協力に関する宣言への署名25周年の機会に会談を行い、二国間関係の緊密化、欧州情勢及び課題について意見交換した。

ポーランド軍とドイツ軍の共同訓練開始【11日】

11日、ポーランド軍とドイツ軍の共同訓練、ディタッチメント16が開始され、ポーランド軍は、第10機械化大隊内第2機械化中隊が、ドイツ軍は、401機械化大隊内第3機械化中隊が参加した。訓練課目は、120ミリ迫撃砲の支援下の機械化歩兵中隊の行動の訓練及び射撃訓練である。

ポーランド・仏外相電話会談【11日】

11日、ヴァシチコフスキ外相はエロー・仏外相と電話会談を行い、ヘリコプター購入の交渉の件を含めた二国間関係及びワルシャワにて開催予定の両国外相会談の準備について意見交換した。

## 経 済

## 経済政策

個人所得税・社会保障の会計一元化の動き【7日】

コバルチク内閣常設委員長は、社会保障・健康保険・個人所得税の一元化について、2017年3月末には法的手続きを終え、2018年には導入を目指していると発言した。高所得者への累進課税額の増加の可能性が言われている。

シャワマハ前財務大臣が中銀理事に任命【7日】

ドゥダ大統領は、9月に解任されたシャワマハ元財務大臣を中央銀行(NBP)執行理事に任命した。

国有企業の所管省庁【7日】

コバルチク内閣常設委員長は、国有財産省が所管していた企業の担当省の割り振りを2週間以内に決定すると発言した。ポーランド銅(KGHM)はエネルギー省、PZU保険は開発省、ワルシャワ証券取引所は財務省、アゾティ化学グループはエネルギー省が開発省の所管とすることを検討中とのこと。

ユンカー・プラン(欧州戦略投資基金(ESIF))支援プロジェクト【11日】

開発省スウォヴィク次官は、欧州投資銀行がポーランドに対して9件のプロジェクトを支援することに同意したと発言した。9件の内訳は、2件が国営企業、3件が地方公共団体、4件が民間企業を対象としたもの。政府の「責任ある成長戦略」では、投資額を対GDP比25%とすることを目指しており、今回のユンカー・プラン支援プロジェクトも、投資の増加への貢献が期待されていると発言。

公営賃貸住宅支援策【12日】

シドゥウォ首相は、9月に政府が承認した住宅支援策「ハウジング・プラス」計画の試行として、17の地方自治体と協力し、土地を買い上げ6千件以上の賃貸アパートを建設予定と発言した。2030年までに、一千人あたりの住宅件数を現在の363件からEU平均の435件に引き上げることを目的としている。

## ポーランド産業動向

ワルシャワはポーランドで最も裕福な都市【8日】

中央統計局GUSのデータによると、2014年のポーランド各都市における一人当たりGDPを比較したところ、ワルシャワが131,000ズロチでトップであった。これは、国内平均のおよそ3倍で、ポズナン(88,900ズロチ)、ヴロツワフ(73,400ズロチ)、クラクフ(72,300ズロチ)と続く。最も低かつ

たのは南東部の都市であった。

電気バス導入が拡大【11日】

ポーランドの各都市において電気バス導入が進んでいる。バス製造大手ソリス社は、電気バス20台を納入する総額4.28億ズロチの契約をクラクフ市と締結したほか、同様の契約をヤヴジノ市とも

結んでいる。この他にも、ワルシャワ市が2020年までに電気自動車130台、ジェロナ・グラ市は同80台を調達するための入札を開始する見込みである。ソリス社とともに電気バス市場で高いシェアを見込まれるのが Ursus Bus 社(農業トラクター製造企業の Ursus 社と特殊車両・バス製造会社である AMZ-Kutno 社の合併)で、最近ワルシャワ市への電気バス10台納入を落札した。

#### 46%が日曜商業活動禁止法に反対【12日】

ポーランド民間経営者連盟(Lewiatan)が調査会社TNSを通じて実施した日曜商業活動禁止法に関する世論調査の結果では、46%が制度導入に反対と答えた。導入に賛成すると答えたのは39%。反対と答えた中でもっとも多かったのが18歳から29歳の若い層であったという。この調査は、3,000人のポーランド人に対し9月から10月にかけて実施された。

### エネルギー・環境

#### 電力容量市場について来年初頭に発表【12日】

トビシヨフスキ・エネルギー省副大臣は、同省が検討している電力容量市場の導入に関し、来年初頭には投資や金融支援策について発表できると述べた。

ポーランドにおける電力容量市場の導入については、現在欧州委員会の審査を受けている。政府の関連法案は今年末には下院に登録されることが見込まれている。

### 社会情勢

#### アンジェイ・ワイダ監督の逝去【9日】

9日、クラクフの日本美術技術博物館創設者であり日本文化振興と日本・ポーランド文化交流に貢献した映画監督、アンジェイ・ワイダ氏(Andrzej WAJDA)が逝去(享年90歳)。

#### 【プロフィール】

1986年 京都賞受賞

1988年 京都クラクフ基金を設立

1994年 日本美術技術博物館設立(設立当時の名称は日本美術技術センター、通称「Manggha 館」)  
日本語学校や茶室の設立にも尽力

1995年 勲三等旭日中綬章受賞

訪日歴多数。

「大理石の男」、「鉄の男」、「地下水道」、「約束の土地」、「カチン」、「ワレサ」など作品多数。

2000年にはアカデミー賞を受賞。坂東玉三郎主演の演劇「ナスターシャ」の演出も行った。

### 大使館からのお知らせ

#### ポズナンにおける領事出張サービスについて

10月22日(土)10時から13時までの間、HOTEL Mercure Poznan Centrum内、会議室(ul. Roosevelta 20, 60-829 Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishuccho.poznan20161022.pdf>

#### パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

#### 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願いを掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

#### 大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: [info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp), 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### 文化行事・大使館関連行事

#### **【開催中】**展覧会:「俳優, 人形, 影。日本と中国の演劇」【9月16日(金)～10月31日(月)】

ワルシャワ市の国立歌劇場付属演劇博物館にて、日本と中国の演劇に関する展覧会が開催され、能面、衣装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: ワルシャワ市国立歌劇場オペラの演劇博物館, ul. Plac Teatralny 1

詳細:

<http://teatr Wielki.pl/dzialalnosc/muzeum-teatralne/wystawy/aktorzy-lalki-i-gra-cieni-teatr-w-chinach-i-japonii/>

#### **【開催中】**花鳥画展【9月21日(水)～12月31日(土)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、花鳥画展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://www.manggha.pl/exhibition/81>

#### **【予定】**展覧会「現代日本書道における西洋文化の影響」【10月20日(木)～11月6日(日)】

トルン旧市庁舎博物館にて、日本現代書道に関する展覧会が開催され、7種の書風による書道作品99点が展示されます。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

#### **【予定】**波武道祭り2016: 合気道セミナー【10月21日(金)～23日(日)】

ヴロツワフにて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による合気道セミナーが開催されます。

開催場所: 第9高等学校, ul. Piotra Skargi 31

詳細: <http://www.fundacja-nami.pl/>

#### **【予定】**ヤン・シビス賞受賞記念展覧会【10月21日(金)～11月20日(日)】

ポーランドアーティスト連盟ワルシャワ支部主催による『ヤン・シビス賞受賞記念展覧会』にて、受賞者の鴨治晃次氏による作品の展示が行われます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Galeria DAP, ul. Mazowiecka 11a

詳細: <http://owzpap.org/>

#### **【予定】**極真空手選手権大会・オルシュティン市武道フェスティバル【10月22日(土)】

オルシュティン市にて、オルシュティン極真空手クラブ主催による『第17回ポーランドシニアオープン・極真空手選手権・ポーランドジュニア極真空手選手権・オルシュティン市武道フェスティバル』が開催されます。

開催場所: ヴァルミア＝マズールィ県, オルシュティン市, Hala Widowiskowo-Sportowa „URANIA”, ul. Piłsudskiego 44

詳細: <http://www.karate.olsztyn.pl/>

#### **【予定】**文化祭: 日本芸術フェスティバル【10月22日(土)～11月6日(日)】

ワルシャワ市にて、チビワル基金主催による文化祭『日本芸術フェスティバル』が開催されます。様々なワークショップ(折り紙・墨絵等)、日本人アーティストによる展覧会、伝統的な音楽のミニコンサートなどが予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Crux, ul. Hoża 51

詳細: <https://www.facebook.com/events/1807471602830452/>

**【予定】日本文化イベント「日本により近く」【10月23日(日)11:00～17:00】**

ザブジェ市にて、学生スポーツクラブ「アイキドウ」主催による日本文化イベント『日本により近く』が開催されます。合気道デモンストレーションのほか、着物のプレゼンテーション、折り紙ワークショップ、寿司の試食などが予定されています。

開催場所: シロンスク県, ザブジェ市, ul. Matejki 8

**【予定】第10回ワルシャワ大学日本祭: 戦争と平和—昭和天皇の日本【10月24日(月)～26日(水)】**

ワルシャワ市にて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第10回ワルシャワ大学日本祭: 戦争と平和—昭和天皇の日本』が開催されます。日本に関する講演会及び学術発表、映画上映、文化行事が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, ul. Dobra 56/66

詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

**【予定】第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー【10月25日(火) 9:00～17:00】**

ワルシャワにて、一般財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL)主催による『第2回日本・ポーランド クリーンコールセミナー』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, ノボテルセントラムホテル, ul. Marszalkowska 94/98

**【予定】日本映画祭【10月25日(火)～28日(金)】**

ワルシャワの映画館 Elektronik にて音楽をテーマとした作品による「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 15PLN。(英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール:

10月25日(火) 19時 「アブラクサスの祭り」加藤直輝監督作品 2010年

10月26日(水) 20時 15分 「楽隊のうさぎ」鈴木卓爾監督作品 2013年

10月27日(木) 20時 「マエストロ！」小林聖太郎監督作品 2015年

10月28日(金) 20時 「くちびるに歌を」三木孝浩監督作品 2015年

サイドイベント(無料):

10月28日(金) 19時 ピアノとバイオリンのリサイタル

開催場所: Elektronik 映画館, Gen. Zajaczka 通り 7番

詳細: <http://kinoelektronik.pl/2016/09/nieznane-oblicza-japonii/>

主催: 在ポーランド日本大使館, 国際交流基金, エレクトロニク映画館

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)